

登録コード	A3595414	開講年度	2026			
授業科目	専攻研究				担当教員	細見 昭
英文授業名	Thesis Research					
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				研究室で行われている研究の背景を理解し自身の研究を説明できるようになる	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				身につけた実験手技を用いて自発的に研究を進めることができるようになる	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				研究室で行われている研究の背景を理解し自身の研究を説明できるようになる	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				身につけた実験手技を用いて自発的に研究を進めることができるようになる	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	真核生物のモデル生物である酵母（特に出芽酵母）を用いて，細胞内のタンパク質輸送機構及び細胞内のタンパク質分解機構の解明を試みる。また，得られた知見を基にして有用タンパク質生産の基礎的研究を行う。					
(5)授業計画	3年次，研究に関連する論文のうち最重要な論文を深く読んでもらい，研究の背景やその奥深さを理解できるようにする。さらに，本研究室での研究に必要な基本的な実験手技（酵母の扱い方，遺伝学的・生化学の実験法）を身につける。 4年次，教員と相談の上，研究室が持っているテーマの中から研究テーマを選び研究を行う。基本的に各個人に別々の研究テーマが与えられる。しかし，他の学生の研究も理解し協力し合って研究を推進することを前提とする。 ＊最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。					
(6)自主学習の指針	自分の研究に関連する文献を常に探索し，最新の知見を得続けること。					
(7)成績評価の基準	研究の理解と研究の取り組み姿勢を総合的に判断して評価する。 以下の基準で5段階評価する。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある 不可D:授業の達成目標の水準よりやや下にある、またはかなり下にある					
(8)事前事後学習の内容	研究で得られた結果を発表に備えた形で整理して下さい。					
(9)テストやレポートの予定	なし					
(10)成績評価の方法	研究の理解と研究の取り組み姿勢及び専攻研究論文を総合的に判断して点数化し、5段階評価する。 秀 S 90-100 優 A 80-89 良 B 70-79 可 C 60-69 不可 D 59以下					
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。					
(12)履修上の注意	研究活動を通して社会で必要とされる能力を養っていることを踏まえて積極的に取り組んで下さい。					
【教科書】	なし					
【参考書】	Molecular Biology of the Cell（日本語版は細胞の分子生物学）					